

シンポジウム進行プログラム

テーマ 21世紀における留学生の役割

趣旨 世界の歴史を振り返って見ると、留学生という主体は文化の交流や文明の伝播などにおいて、大きな役割を果たして来ました。日本は東洋文明と西洋文明を積極的に融合している国と言えます。日本へ留学に来た留学生は今はアジアに限らず、全世界に広がっています。21世紀の世界は文明の融合はより一層進められています。今回のシンポジウムにおいては、世界の現状を背景に、日本での留学経験を踏まえて、それぞれ国々の立場から、留学生の役割や各国の留学生システム（留学生採用条件や支援政策など）および留学システムの改善などについて、議論が行われます。

第一部 スピーチ（10月10日午前10時—12時）

主催側挨拶 国際ロータリークラブ第2640地区米山記念奨学生学友会初代会長
邱 迅

激励ご挨拶 国際ロータリークラブ第2640地区2010—2011年度
ガバナー 米山 真理子 先生

基調講演 大阪府立大学副学長 寺迫 正廣 先生

奨学生代表発言 現役国際ロータリークラブ第2640地区米山記念奨学生学友会
会長 孟 繁陽

奨学生代表発言 現役ロータリークラブ米山記念奨学金
奨学生 ドゥル・スルヤ・キラン

奨学生代表発言 元ロータリークラブ米山記念奨学会
奨学生 劉 彦 輝

上海地元大学生代表 人選未定
発言

第一部の司会 李ファン 元ロータリークラブ米山記念奨学会奨学生
現在中国大連師範大学日本語教師

第二部 パネルディスカッション（10月10日午後2時—4時）

パネラー 寺迫 正廣 先生 大阪府立大学副学長

河合 利晴 先生 国際ロータリークラブ第2640地区
米山記念奨学委員会 顧問

曹 庭 元ロータリークラブ米山記念奨学会奨学生
（現在西安師範大学日本語教師）

ウッパラ・バンダラ 現役ロータリークラブ米山記念奨学会奨学生
プール学院大学四年生
甌 文棟 元ロータリークラブ米山記念奨学会奨学生
現在シャープ株式会社在職

第二部のコーディネーター 李ファン

第三部 アトラクション（10月10日午後4時半—5時半）

1. 奨学生と上海地元大学生により、民族芸能披露
ロータリーアンの方のご出演大歓迎
2. 手話の歌「感恩の心」を全員で合唱

「感恩の心」とは、お世話になった人に対して感謝の意を表す内容となり、手話で歌う歌で、今は中国で人気を呼んでいます。

第三部の司会 地元の大学生

第四部 懇親会（10月10日午後6時半—8時半）
全員参加

シンポジウム会場 上海スワンホテル一階多目的ホール

尚、出場者は都合によって、変わることがありますので、予めご了承ください。